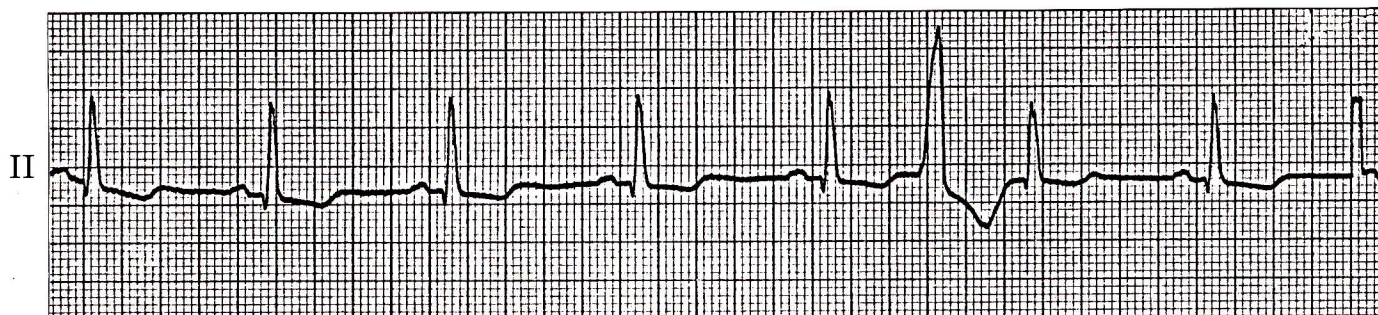


症例 34

●51歳 男

肝癌、肝硬変症のため入院。低蛋白血症、腹水、黄疸を認める。



1) このリズムは何か。

心電図診断

心室性期外収縮(間入性)

6 拍目のQRS波は幅広く、変形している。6 拍目にはP波がない。

5 拍目と 7 拍目の間隔は基本調律のRR間隔(0.96秒)とほぼ同じ。すなわち期外収縮は基本調律を乱さず、間にはさまった感じとなる(間入性)。

解 説

心室性期外収縮は代償性(症例33)の形をとることが多いが、この症例のように間入性になることもある。臨床的な意味は代償性の場合と同じである。